

最近の話題

愛媛大学農学部附属演習林

炭焼き体験の開催

地域貢献活動の一環として、地元中学校の生徒を対象に炭焼き体験を実施した。この中学校では、地域産業である炭焼き技術の継承を目的に、毎年炭窯を用いた炭焼きをおこなってきた。しかし、夜間の火の管理や教員側の技術継承が難しくなったことから、授業の継続が困難になっていた。そこで当演習林では、短時間で炭焼きが可能で過去にも実施した経験のあるドラム缶方式を採用し、炭焼き体験をおこなうこととした。中学生には、ドラム缶窯の作成から火入れまでを体験してもらい、着火直後と炭化が進んだ終盤での煙の変化も観察してもらった。火の管理がほとんど不要となる中盤の時間には、実験林を散策し、林内の動植物を観察した。

この中学校との連携による炭焼き体験は、来年度以降も毎年開催される予定である。今後も、地域の伝統行事の継承に貢献できるよう、活動を続けていきたい。

高所作業車での作業

苗畑試験地内にあるクヌギ（直径 40cm、樹高 18m）の枝が越境し、さらに電線の上を通過していたため、技術職員が伐採作業をおこなうこととなった。伐倒作業に先立ち、作業の支障となる高所の枝を切り落とす必要があったため、新たに高所作業車の資格を取得した上で作業に臨んだ。クヌギは境界の外側へ傾いていたため、敷地内側へ倒すことが難しかった。そこで、エンジンウインチとチルホールを併用して牽引し、さらに追口にジャッキを設置して伐倒方向を制御することで、安全に伐倒を完了させた。

近年、当演習林には他学部・他部署からの支障木伐採の依頼が増えている。今後も山林以外での伐採機会が増えることが予想されるため、今回得た経験を今後の業務に活かしていきたい。



炭焼き体験



高所作業